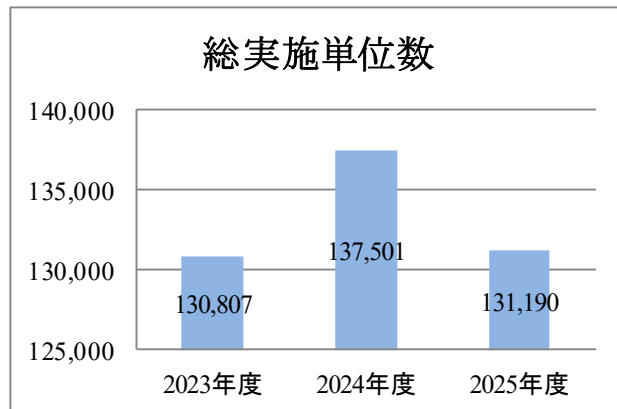


2-27 リハビリテーション科

業務実績



研究・教育活動

【英文原著】

1. Yagi R, Sato S, Azuma N, Kawahara K, Watanabe D, Kobayashi A, Furuya Y, Takayama R, Takayama T, Kita Y, Ikeda Y, Sato S, Murata A, Shimada Y, Tanuma A, Genda T : Association of exercise Tolerance with Survival in Patients with Hepatocellular Carcinoma Receiving Locoregional Therapy. Progress in Rehabilitation Medicine 11; 2026.
2. Tani M, Yamaguchi T, Honaga K, Takahashi Y, Kono H, Murakami Y, Isayama R, Haruyama K, Fujino Y, Matsuda T, Fukunaga I, Hori M, Tanuma A, Wada F, Hatori K, Fujiwara T. Electromyography (EMG)-triggered transcutaneous spinal cord and hip stimulation for gait rehabilitation in persons with chronic stroke: a randomized, controlled trial. J Neuroeng Rehabil 22(1): 154, 2025.
3. Ase H, Miura K, Yoshida T, Kitahara E, Takagi T, Honaga K, Tanuma A, Tani M, Murakami Y, Ishikawa A, Isayama R, Fujiwara T: Clinical determinants of functional independence at discharge in patients with spinal cord dysfunction due to metastatic spinal tumors. Arch Rehabil Res Clin Transl 8(1): 100549, 2025.
4. Hijikata N, Konishi N, Tatematsu N, Nishiyama N, Kojima K, Ito D, Sakai Y, Kouda K, Tanuma A, Takakura Y, Inoue J, Kobayashi T, Sakurai T, Sugimori N, Abe K, Kurihara M, Tsuji T. Implementation strategies for cancer rehabilitation in clinical practice: a Delphi study. Jpn J Clin Oncol hyag085, 2026.

【和文総説】

1. 越智英輔, 福島卓矢, 田沼明: がん患者に対する運動負荷を考える. MEDICAL REHABILITATION 322 : 71-77, 2026.

【和文著書】

1. 海東健太：ケーススタディ 急性期病院. 牧野日和, 夏目長門 (編)：言語聴覚士が行う口腔ケア-食べる・話す・生きるを支えるために-, pp139-142, 新興医学出版社, 2025.
2. 小林敦郎, 渡邊大輔：知識・技術・学習力が身につく 3 ステップで学ぶ理学療法スタートブック. P67-72, 108-117, 158-162, 株式会社ヒューマン・プレス, 2025
3. 小林敦郎, 渡邊大輔：理学療法士のための認定スクールトレーナーテキスト. P139-143, 161-170, 南江堂, 2025
4. 田沼明 (編)：周術期のがん患者へのリハビリテーション診療. MEDICAL REHABILITATION 322, 2026.

【学会発表 (国内)】

1. 松永晃奈：誤嚥性肺炎患者に対し段階的な動作練習により ADL 改善が得られた一症例-歯磨き動作に着目して-,第 38 回静岡県作業療学会,静岡,2025/6/14-15
2. 多島佑樹：適切な呼吸・動作指導を行うことで HFNC はより効果を発揮する-ポータブルトイレへの移乗動作獲得につながった症例経験より-,第 28 回静岡県理学療法学術大会,静岡,2025/6/22
3. 永田梨乃：しゃがみ込み動作獲得に向けエコーを使用した腹圧練習を行った人工股関節全置換術の一例,第 28 回静岡県理学療法学術大会,静岡,2025/6/22
4. 馬淵美佑：体幹低緊張を呈した脳卒中者に対し呼吸を併用した体幹機能へのアプローチによりバランス改善を認めた一症例,第 28 回静岡県理学療法学術大会,静岡,2025/6/22
5. 栗原昇汰：フレイル・サルコペニアを併存した感染性心内膜炎・僧帽弁逆流症患者に対する理学療法経験～スロートレーニングが身体機能改善に繋がった一症例～,第 28 回静岡県理学療法学術大会,静岡,2025/6/22
6. 海東健太, 田沼明：気管カニューレが嚥下時の舌骨・喉頭移動距離に与える影響-超音波断層撮影法による検討-. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 神奈川, 2025/9/19-20
7. 小池教文：変形性股関節症患者の腰椎可動性と姿勢制御機能の関係性について. 第 41 回東海北陸理学療法学術大会, 福井, 2025/10/25-26
8. 内田桃花：COPD 急性増悪患者に対するエルゴメータ実施姿勢の検討～端座位と上肢支持を伴う体幹前傾位の比較～. 第 41 回東海北陸理学療法学術大会, 福井, 2025/10/25-26
9. 河原一剛：インクルーシブ自転車イベントを活用した地域連携の実践報告 第 12 回日本地域理学療学会学術集会 北海道 2025/10/11-12
10. 海東健太：舌圧等尺性バイオフィードバック訓練が奏功した重症筋無力症の 3 例-日差変動を考慮した負荷量調整法の試み-. 第 39 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2025/11/8-9.
11. 八木陸人：肝線維化の進展度が肝細胞癌患者の運動耐容能に及ぼす影響. 第 11 回日本糖尿病理学療学会学術大会, 千葉, 2025/12/20-21
12. 三木優果里：薬剤性パーキンソニズムが疑われた嚥下障害の 1 症例-先行期障害を考慮した介入の重要性-. 2025 年度静岡県言語聴覚士会全体研修会, Zoom, 2026/2/1
13. 海東健太, 田沼明：頸椎前方固定術後に生じる椎体前方軟部組織 (PVST) の腫脹と食形態・嚥下機能に関する後方視的調査. 第 49 回日本嚥下医学会学術講演会, 佐賀, 2026/2/12-13

【講演】

1. 田沼明：がんリハビリテーションと栄養. 第 41 回日本栄養治療学会学術集会, 横浜, 2026/2/13-14.
2. 田沼明：がんリハビリテーションと栄養管理. 第 14 回日本がんリハビリテーション学会学術集会, 高崎, 2026/2/28-3/1.
3. 田沼明：リンパ浮腫と運動機能・生活機能障害. 第 9 回日本リンパ浮腫学会総会, 福岡, 2026/3/28-29.